学校番号	２０５

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	モダンクラフト	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・用途を意識したモノづくりをするので普段の生活で使う文房具や食器、インテリアなどの造形に着目してほしい。

・構想を練るときには、必要な資料を、美術室や図書館等で調べる。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする

【思考力、判断力、表現力等】

造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、クラフト（工芸）の働きなどについて考え、心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸の伝統を文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする

【学びに向かう力、人間性等】

主体的に創作活動に取り組み、生涯にわたりクラフト（工芸）を愛好する心情を育むとともに、感性を高め生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事柄を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、創造的な工芸の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を追求しているかを評価します。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸品の伝統や文化に対する見方や感じ方を深められているかを評価します。	主体的に工芸分野の幅広い創作活動に取り組み、工芸を理解する心情をはぐくみ、完成を高め工芸の伝統と文化に親しみ生活や社会を心豊かにするために、そのよさを取り組もうとしているかを評価します。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	サンドブラスト	身近なところで美術がどう生かされているかを考える。ガラスのコップや鏡等にマスキングをし、カッティングによって形を出し、吹き付けてすりガラスにする	a: 素材の特徴、表現方法をいろんな角度から考察し、構想を練る。 b: 意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追求して表現している。 c:課題に対して意欲的に取り組もうとしているか。様々な作品を鑑賞し、参考にしながら、自分にとってどうするのかを考える。	アイディアスケッチ 提出作品	取り組み状況 提出作品	アイディアスケッチ 取り組み状況 振り返りシート
	レザークラフト	革を使って独自の図案でコースターを制作。		アイディアスケッチ 提出作品	取り組み状況 作品提出	アイディアスケッチ 取り組み状況 振り返りシート
2学期	ステンドグラス	テラリウムまたはオリジナル立体作品の制作 工作用紙でまずやろうとする形を組み立てる。実際にガラスでやる場合、はんだ付けが可能かどうかを検討。 ガラスのカット、研磨、銅テープはり、形を組み立てハンダ付け。ハンダ部分の処理。	a：素材の特徴、表現方法を、いろんな角度から考察し構想を練る。 b:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追求して表現している。 c: 様々な作品を鑑賞し、参考にしながら、自分の制作の中に取り入れていく。	アイディアスケッチ 提出作品	取り組み状況 提出作品	アイディアスケッチ 取り組み状況 振り返りシート
3学期	工芸(七宝焼き)	七宝焼き制作 銅版を形作る	a: 銅板の形がきちっと作られていてデザインと合っているか。 b: 何回でも焼成できるので、自分が納得できるまでやったか。 c: 今までの様々な作品を鑑賞しながら、作品に生かせられているか。	アイディアスケッチ 提出作品	取り組み状況 提出作品	アイディアスケッチ 取り組み状況 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度